



XML 形式の入力ファイルの使用方法

MapDraw V7.1



このマニュアルの目的

このマニュアルは、XML ファイルに含まれるデータを使って、MapDraw で帳票設計するためのものです。

XML ファイルの構造は、MapDraw で使用可能なものであることが必要です。このマニュア ルでは、XML ファイルの仕様についても述べています。

対象読者

MapDraw の中級レベルの使用者。

このマニュアルの使用法

章ごとに異なるトピックを扱っていますので、目次をご覧になり、必要な箇所を参照してく ださい。



1. 操作の概要	4
2. 必要な XML ファイルの構造の例	5
3. XML ファイルのサンプル	7
4. XML ファイルを MapDraw で開いた画面	8
5. Map 画面で表示されるゾーン	9
6. Map 画面へのグループの配置1	1
7. ゾーンの条件付け14	4
8. グループ内のゾーンの条件付け12	7
9. Mapping 処理	0



1. 操作の概要

XML ファイルを使って帳票設計する方法は、スプール・ファイルを使う場合とほとんど変わりません。つまり、MapDraw では、スプール・ファイルに対して行なうのと同じように、データの配置を決める Map 画面に、XML データを直接、ドラッグ&ドロップできます。

ただし、MapDrawの[プロジェクトのプロパティ]画面で、[言語]を[XPS]、[モード]を[XML]に設定します。

XML ファイルの中のデータを正しく使用するためには、MapDraw 画面で XML ファイルの内容が正しく 表示されていることを確認してください。そのためには、XML ファイルが、次の章以降で述べるような 構造になっている必要があります。

プロジェクトのプロパティ	Paule - Depe	×
プロジェクトのプロパティ 表面 コメント		
言語 XPS ▼	ブリンターの設定 ページ・サイズ(P): A4 (21,0 × 29,7 cm) ▼	片面/両面(S):
向き	Xマージン:	Yマージン:
	66.04 10/mm 👻	66.04 10/mm -
Landscape Portrait	幅()):	高さ(日):
フォーマットのパラメーター	2099.73 10/mm -	2970.10 10/mm -
フォーマット名: シーケンス: XMLSAMPLE 00010		
itt ^o fi:	コピー本R進行・	
スキリノオルント Z¥map29338¥mapping¥	Couponing project	
□ード・ページ [1200: Unicode (multilanguage)		
E BBCS on AS400 XML SO/SI mode : YES		[[]][[]][[]][[]][[]][[]][[]][[]][[]][[
	OK	ル 適用(A) ヘルプ
MapDraw プロジェク	ットのプロパティ画面	面

XML 形式の入力ファイルの使用方法 MapDraw V7.1



2. 必要な XML ファイルの構造の例



- <page name="..."> … </page> タグは、ページの範囲を表わします。このサンプルでは、 ページ数は1ページとなります。
- <field name="...">value1</field> タグは、MapDraw の「ゾーン」に対応します。
- <group name="..."> ··· </group> タグは、ゾーンを繰り返す行数を表わします。
 MapDraw の「グループ」に対応します。
- line name="…"> … line> タグは、グループの中の行です。

具体例を使った説明:

このサンプルを「請求書」を例として説明します。

cpage name="..."> … </page>は、請求書の各ページを表わします。

<proup name="..."> ··· </proup> は、請求書の中を区切るもので、例えば、開始行と終了行です。

line name="…"> … <line> は、請求書の各行の内容です。

<field name="...">value1</field>このタグについては、2種類のケースがあります。



このタグがグループの外にある場合は、請求書の中の単独の情報です。この場合、value1は、例 えば、ヘッダー部にある請求書番号や、お客様番号、請求書タイプです。

このタグがグループの中にある場合は、value1は、ある行の中のゾーンの値です。例えば、製品 番号や、製品名、価格です。



3. XML ファイルのサンプル

```
<page name="1">
      <group name="meisai">
                   line_name="L1">
                    <field name="number">135</field>
                    <field name="title">インボリューションー内に向かう発展</field>
                    <field name="volume">2</field>
                    <field name="unit_price">1500</field>
             </line>
             line name="L2">
                    <field_name="number">273</field>
                    <field name="title">アリゾナの植物誌(第二版)</field>
                    <field name="volume">1</field>
                    <field_name="unit_price">2000</field>
             </line>
             line name="L3">
                    <field name="number">296</field>
                    <field name="title">北西沿岸インディアン・アート</field>
                    <field name="volume">35</field>
                    <field name="unit_price">5000</field>
             </line>
             line_name="L4">
                    <field name="number">323</field>
                    <field_name="title">アタラとルネ</field>
                    <field name="volume">2</field>
                    <field_name="unit_price">980</field>
             </line>
             line name="L5">
                    <field name="number">389</field>
                    <field name="title">タガログ語入門・会話コース</field>
                    <field name="volume">2</field>
                    <field name="unit_price">1450</field>
             </line>
             line name="L6">
                     <field name="number">902</field>
                     <field name="title">カウンター・ステイトメント</field>
                     <field name="volume">12</field>
                     <field name="unit_price">8900</field>
             </line>
       </group>
</page>
```

このファイルでは、1 ページ目の中のグループは、[meisai]1 つあります。グループの中には、[L1]から [L6]まで、6 つの行があります。行の中には、[number]、[title]、[volume]、[unit_price]という 4 つ フィールドがあり、それぞれに値を持っています。



4. XML ファイルを MapDraw で開いた画面

"3. XML ファイルのサンプル"の1ページ目を、MapDrawの[XML ビュー画面]で表示した状態



同じ XML ファイルの2ページ目を表示した画面

	MapDraw Unicode
	Style 👻 🖗
☆切り取り(c) Ⅲ 複製(2)) MS Gothic 🔹 12 🔹 🔊 テキスト・ゾーン 😡 選択 🗆 🔿 💆 ペンの色 🗸 🙀
³¹⁰¹⁰⁰⁰ ダフォーマットをコピーする	▲フォントの色 · // 表の作成 へ □ =ペン · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
クリップボード	システム・フォント 挿入 形 スタイル 生成する
✓ XML_Sample2.mp × ▷	XML 본고 — - Z:\map33099\mapping\SMK_SampleXML.xml - 2 / 5 부 사
	Page:2 Z: PAGE_NUMBER - Page Number: 2 G: Group : meisai Line : L1 Z: number - : 043 Z: title - : 二大世界体系についての対話 Z: volume - : 5 Z: unit_price - : 1500 Line : L2 Z: number - : 045 Z: title - : パウル・クレーの日記 Z: volume - : 20 Z: unit_price - : 1500 Line : L3 Z: number - : 155 Z: title - : カリフォルニアの植物の早期使用 Z: volume - : 200 Line : L3 Z: unit_price - : 2300 Line : L4 Line : L5 Line : L5 Line : L5 Line : L6 Z: 10 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 /



5. Map 画面で表示されるゾーン

MapDraw の画面右側の XML ビュー画面から、左側の Map 画面に、ゾーンをドラッグ&ドロップできます。 そうすると、ゾーンのプロパティ画面が、次のように表示されます。

ソーンのプロパティ		A DESCRIPTION OF THE OWNER OF THE		×
データ位置 フォントとスタイル 条件				
ゾーン名(Z): TITLE	⊻ML フィールド: title			
データ位置		タイプ(<u>T</u>): (文字 ・		
── XML データを開く		標準 ▼		
桁: : 1	長さ(<u>L</u>) : 11	ゾーン条件(<u>Z</u>): a ・	Y シフト(<u>S</u>): 0	10/mm -
ゾーンの前に追加する文字:			_	
				言 半 部 田
ソーンの後に追加する文字:				
l				
		OK	キャンセル	

このサンプルでは、XML ファイルのゾーン[title]が、ドラッグ&ドロップされたことが分かります。 ゾーン名は、XML ファイルのゾーン名[TITLE]を引き継いでいます(10 文字まで)。

🛈 注

MapDraw 上のゾーンの名前は変えられます。しかし、XML フィールドの名前は変更しないでください。

XML_Sample2.mp* \times ⊳ XML ビュー - Z:\map33099\mapping\SMK_SampleXML.xml - . . Z: PAGE_NUMBER - Page Number : 2 Group : meisai 🖮 🐋 Line : L1 Z: number - : 043 NUI а Z: title - : 二大世界体系についての対話 Z: volume - : 5 Z: unit_price - : 1500 プレビュー・アイコン プレビュ を押すか、そのショート・カット・キー(Ctrl+W キー)を押すと、次のよう にプレビュー画面が表示されます。

ゾーン[TITLE]は、スプール・ファイルの時と同様に、Map 画面では次のように表示されます。



この XML ファイルのゾーンから特定の文字数だけを表示したい場合には、ゾーンのプロパティ画面で、次のように、[XML データを開く]にチェックを入れた後、[データの位置]欄に表示したい初めの桁と、桁数を指定します。

ソーンのプロパティ	X
データ位置 フォントとスタイル 条件 コメント ゾーン名(2): XML フィールド: TITLE title データ位置 マンML データを開く 新行: 長さ(L): 1 6 ゾーンの前に追加する文字:	タイプ(丁): 文字 標準 ゾーン条件(Z): a ・ し 10/mm 詳細
	OK キャンセル 適用(A) ヘルプ

プレビュー画面では、次のように表示されます。





6. Map 画面へのグループの配置

XML ファイルの中の次のグループ[meisai]を例にご説明します。



MapDraw では、スプール・ファイルを元に設計する場合でも、XML ファイルの場合でも、「固定グループ」 では、開始行と終了行を指定することに違いはありません。ただ、XML ファイルの場合は、グループは名 前で指定しますので、グループの数が多い時には非常に便利です。グループは入力データの中に存在する 時にだけ、実行されます。

グループを Map 画面にドラッグ&ドロップすると、次のようなグループのプロパティ画面が表示されます。

固定グループ	×
新規グループ 実行 コメント	
グループ名: meisail	☑ 排他的な条件
開始行(<u>S</u>): 終了行(<u>E</u>): 1 66	
グループの上端と最初の行の間隔: 42.33 10/mm マ	
● 終端 0 10/mm	
	OK をやンセル 適用(A) ヘルプ

グループ名は、自動的に XML ファイルの中のグループの名前を引き継ぎます。このサンプル画面では、終 了行は 66 行目となっています。

🚺 重要



グループの名前を変更すると、[Line]との関係が切れてしまいます。グループの名前は、XMLファ イルの中のグループの名前と必ず一致させてください。

このグループを定義すると、Map 画面に次のように表示されます。



スプール・ファイルの時と同様に、このグループの中にゾーンをドラッグ&ドロップします。[number]ゾ

ーンをこのグループの中にドラッグ&ドロップすると、次のようなプロパティの画面が表示されます。

ソーンのプロパティ	×
データ位置 フォントとスタイル 条件 コメント	
ゾーン名(Z): XML フィールド: NUMBER number	
- データ位置	タイプ(<u>)</u> : 文字 ▼
XML データを開く	標準
桁i: 長さ(L): 1 3	ゾーン条件(Z): Y シフト(S): なし ▼ 0 10/mm ▼
ゾーンの前に追加する文字:	======================================
ゾーンの後に追加する文字:	
	OK キャンセル 通用(<u>A</u>) ヘルプ

[ゾーン名]は、XML ファイルのゾーンの名前[NUMBER]が、自動的に引き継がれます。

他のゾーン、[title]、[volume]、[unit_price]も同様に配置します。([volume]と[unit_price]は右寄せを 指定しています。)

٩ /	XML_Sample2.mp* ×	Þ	XML ビユー - Z:\map33099\mapping\SMK_SampleXML.xml - 1 / 5
	10 聿符々	*	
	№. 盲栢石		Z: PAGE_NUMBER - Page Number : 1
			Eine : L1
			Z: number - : 135
	NUM TITLE /0 - なし - なし - なし		
			Z: volume - : 2
		-	
			⊨s Line : L2
			Z: number - : 273
			Z: volume - : 1



プレビューの結果は次のとおりです。

1ページ目

٩ /	XML_Sample				Þ	XML ビュー - Z:\map33099\mapping\SMK_SampleXML.xml - 1 / 5
	No	書 轾 夂			*	□] Page : 1
	NU.	日相口				Z: PAGE_NUMBER - Page Number : 1
						🖻 🤂 Group : meisai
	135	インボリューション-内に向かう発展	2	1500		🖨 🗝 Line : L1
	273	アリゾナの植物誌(第二版)	1	2000	-	
					=	Z: unit_price - : 1500
	206	北西沿岸ノンディアン・アート	25	5000		🚊 🖘 Line : L2
	290	北四加岸インティアン・アート	22	2000		Z: number - : 273
	323	アタラとルネ	2	980		Z: volume - : 1
						Z: unit_price - : 2000
	200		-	4 4 5 9		🚊 👒 Line : L3
	389	タカロク語入門・会話コース	2	1450		
						Z: title - :北西沿岸インディアン・アート
	902	カウンター・ステイトメント	12	8900		
	902		12	0,000		Z: unit_price - : 5000

2 ページ目

٩	XML_Sample	2.mp* ×			⊳	XML ビュー - Z:\map33099\mapping\SMK_SampleXML.xml - 2 / 5
	No.	書籍名			^	□- Page: 2 -Z: PAGE_NUMBER - Page Number: 2
	043	二大世界体系についての対話	5	1500		□-G: Group : meisai □
	045	パウル・クレーの日記	20	1500	E	
	155	カリフォルニアの植物の早期使用	20	2300		
	379	シダ植物	4	780		-Z: title - : パワル・クレーの日記 -Z: volume - : 20 -Z: unit_price - : 1500

MapDraw のプレビュー機能は、次のような使い方ができます。

- スプール・ファイルと同様に、XML ファイルの内容を一通り確認できます。
- ゾーンとグループの内容を、確認できます。
- ゾーンとグループを Map 画面に、ドラッグ&ドロップできます。
- スプール・ファイルの時と同様に、設計した結果をプレビューできます。
- XML ファイルのゾーンの値を変えた結果が、すぐに画面で確認できます。



7. ゾーンの条件付け

XML ファイルのゾーンにも、条件を設定することができます。

例えば、明細の各ページに「国内書籍」のページか「海外書籍」のページかを表示するものとします。



分かりやすいように、各ページの上部に、「国内書籍」は<mark>赤色</mark>、「海外書籍」は<mark>青色</mark>で表示すように設計 します。

それには、それぞれ、文字の色を指定した上で、相反する条件を付加した同じ名前のゾーン「source」を、 同じ場所に配置します。

「国内書籍」用のゾーンの条件は、次のように指定します。

y.	ーンの	プロノ	パティ						Maria	-		×
	データ	立置	フォントとス	スタイ	ル条件	אעאב						
	固》	をソーン	、条件に対	するフ	ィルターを入力	してください。						
	次《)場合(こゾーンが表	ŧ示č	れます:							
	1	XML	. ゾーン	•	Type :	XML Fixed	▼ Name	: source	the value	国内		
	2	*		•	in line	1 -	between columns	0 and	0 the value			
	3	*		•	in line	1 -	between columns	0 and	0 the value		-	
			論理ル∽	-ル:	1							
) ()		
L								OK	キャンセル	」 100円(A)		

[XML ゾーン]を指定した上で、 [XML Fixed] タイプであるゾーン[source]の値が[国内]であるかどうかを チェックします。その結果が「真」の場合には、次のように「国内書籍」と、赤い文字で表示します。



ソーンのプロパティ	1.00	×
データ位置 フォントとスタイル 条件 コメント		
ゾーン名(Z): XML フィールド: SOURCE source		
- データ位置	タイプ(①: 文字 ▼	
III XML データを開く	標準 ▼	
析: 長さ(<u>↓</u>): 1 2	ゾーン条件(Z):	
ゾーンの前に追加する文字:		言羊糸田
ゾーンの後に追加する文字:		
書籍		
	ОК	キャンセル 適用(A) ヘルプ

「海外書籍」用のゾーンの条件は、ゾーン[source]の値が「海外」かどうかをチェックするものでも良いのですが、「国内」以外は「海外」であることが明らかな場合には、次の画面のように、値は「国内」のまま、[論理ルール]欄に「not 1」と記述することもできます。

-ンの	プロパティ					-	_	×
データ(立置 フォントとスタイ	(ル 条件)						
固>	をソーン条件に対する	フィルターを入力	してください。					
次の)場合にゾーンが表示さ	5れます :						
		1						
1	XML ゾーン 🚽	Type :	XML Fixed	Name :	source	the value	国内	— <u> </u>
2	* •	in line	1 •	between columns	0 and 0	the value		
3	* •	in line	1 -	between columns	0 and 0	the value		-
	論理ルール	: not 1	7					_
					ОК	キャンセル	適用(A)	
	- ンの データ 1 2 3	-ンのブロパティ 図定ソーン条件に対する 次の場合にソーンが表示が 1 XML ゾーン ・ 2 * ・ 3 * ・ 論理ルール	- ンのブロパティ <u>データ位置 フォントとスタイル</u> 条件 : 固定ソーン条件に対するフィルターを入力 次の場合にソーンが表示されます : 1 XML ゾーン ▼ Type: 2 * ■ in line 3 * ■ in line 論理ルール: not 1	- ンのブロパティ データ位置 フォントとスタイル 条件 コメント 図定ソーン条件に対するフィルターを入力してください。 次の場合にソーンが表示されます: 1 XML ゾーン ▼ Type : XML Fixed 2 * ▼ in line 1 ▼ 3 * ▼ in line 1 ▼ 論理ルール : not 1	- ンのブロパティ データ位置 フォントとスタイル 条件 コメント 図定ソーン条件に対するフィルターを入力してください。 次の場合にゾーンが表示されます: 1 XML ゾーン ▼ Type: XML Fixed ▼ Name: 2 * ▼ in line 1 ▼ between columns 3 * ↓ in line 1 ▼ between columns i論理ルール: not 1	- ンのブロパティ デーダ位置 フォントとスタイル 条件 コメント 国家ソーン条件に対するフィルターを入力してください。	- ンのプロパティ デーダ位置 フォントとスタイル 条件 コメント 国家ソーン条件に対するフィルターを入力してください。	- シのプロパティ デーダ位置 フォントとスタイル 条件 コメント 国家ソーン条件に対するフィルターを入力してください。

Map 画面は、次のようになります。(ゾーン[SOURCE]は、国内用と海外用の2つが同じ場所に重なって配置されているので、青字に指定した海外用のみ表示されています。)



XML_Sample2.mp* ×	XML ピュー - Z:\map33099\mapping\SMK_SampleXML2.xml - 1 / 5
No. 書籍名 NUI TITLE /0 - なし VOLUME /0 - なし /0 - なし	Page:1 Z: PAGE_NUMBER - Page Number:1 Z: source - : 海外 G: Group : meisai Line:L1 Z: number - : 135 Z: ttle - : インボリューション - 内に向かう発展 Z: volume - : 2 Z: unit_price - : 1500 G → Line:L3 G → Line:L4 G → Line:L5 G → Line:L6
meisai (0)	

プレビューの結果は次のとおりです。

1	1ページ目									
٩	XML_Sample2.mp* ×			1	XML ピュー - Z:\map33099\mapping\SMK_SampleXML2.xml - 1 / 5					
	海外書籍 No.	書籍名			日 - Page:1					
	135	インボリューション-内に向かう発展	2	1500						
	273	アリゾナの植物誌(第二版)	1	2000	e -					
	296	北西沿岸インディアン・アート	35	5000	⊕					
	323	アタラとルネ	2	980						
	389	タガログ語入門・会話コース	2	1450						
	902	カウンター・ステイトメント	12	8900						

2 ページ目

Image: Subsection product of the second	4	VML Sample2 mpt			N	YML Han - 7()man33099()manning()SMK SampleYML2 ymL - 2 / 5
国内書籍 No. 書籍名 043 二大世界体系についての対話 5 1500 045 パウル・クレーの日記 20 1500 155 カリフォルニアの植物の早期使用 20 2300 379 シダ植物 4 780 390 芸術としての写真 3 1180 479 フランス象徴派詩集 15 18000		XML_Sample2.mp	X			
国内書籍 No. 書 籍 名 043 二大世界体系についての対話 5 1500 045 パウル・クレーの日記 20 1500 045 パウル・クレーの日記 20 1500 155 カリフォルニアの植物の早期使用 20 2300 379 シダ植物 4 780 390 芸術としての写真 3 1180 479 フランス象徴派詩集 15 18000						Z: PAGE_NUMBER - Page Number : 2
No. 書籍名 043 二大世界体系についての対話 5 1500 045 パウル・クレーの日記 20 1500 155 カリフォルニアの植物の早期使用 20 2300 379 シダ植物 4 780 390 芸術としての写真 3 1180 479 フランス象徴派詩集 15 18000		国内書籍	音			
043 二大世界体系についての対話 5 1500 043 二大世界体系についての対話 5 1500 045 パウル・クレーの日記 20 1500 155 カリフォルニアの植物の早期使用 20 2300 379 シダ植物 4 780 390 芸術としての写真 3 1180 479 フランス象徴派詩集 15 18000		No.	書籍名			Line : L1
043 二大世界体系についての対話 5 1500 045 パウル・クレーの日記 20 1500 155 カリフォルニアの植物の早期使用 20 2300 379 シダ植物 4 780 390 芸術としての写真 3 1180 479 フランス象徴派詩集 15 18000					=	
045 パウル・クレーの日記 20 1500 155 カリフォルニアの植物の早期使用 20 2300 379 シダ植物 4 780 390 芸術としての写真 3 1180 479 フランス象徴派詩集 15 18000		043	一大世界休系についての対話	5	1500	
045 パウル・クレーの日記 20 1500 155 カリフォルニアの植物の早期使用 20 2300 379 シダ植物 4 780 390 芸術としての写真 3 1180 479 フランス象徴派詩集 15 18000		045		5	1500	Z: volume - : 5
045 ハリル・クレーの日記 20 1500 155 カリフォルニアの植物の早期使用 20 2300 379 シダ植物 4 780 390 芸術としての写真 3 1180 479 フランス象徴派詩集 15 18000		0.45	비수비 신 소민리	20	1500	
155 カリフォルニアの植物の早期使用 20 2300 379 シダ植物 4 780 390 芸術としての写真 3 1180 479 フランス象徴派詩集 15 18000		045	パリル・クレーの日記	20	1500	7: number - : 045
155 カリフォルニアの植物の早期使用 20 2300 379 シダ植物 4 780 390 芸術としての写真 3 1180 479 フランス象徴派詩集 15 18000						・ Z: title - :パウル・クレーの日記
379 シダ植物 4 780 390 芸術としての写真 3 1180 479 フランス象徴派詩集 15 18000		155	カリフォルニアの植物の早期使用	20	2300	
379 シダ植物 4 780 390 芸術としての写真 3 1180 479 フランス象徴派詩集 15 18000						Z : unit_price - : 1500
390 芸術としての写真 3 1180 479 フランス象徴派詩集 15 18000		379	シダ植物	4	780	in the second se
390 芸術としての写真 3 1180 -Z. volume - : 20 479 フランス象徴派詩集 15 18000 -Z. volume - : 20		3,3			,00	
390 云柳とじての与真 3 1180 -Z: unit_price - : 2300 479 フランス象徴派詩集 15 18000 -Z: number - : 379		200	サイトレーズの定古	2	1100	
479 フランス象徴派詩集 15 18000 □ Line: L4 - 2, number - : 379		390	云何としての与其	3	1180	7 : unit price - : 2300
479 フランス象徴派詩集 15 18000 - Z. number - : 379						
		479	フランス象徴派詩集	15	18000	Z: number - : 379



8. グループ内のゾーンの条件付け

グループの中のゾーンに対しても、条件付けは可能です。 ここでは、XML ファイルの「meisai」グループの中の先頭に、「SUBJECT」という各項目名を記載した 1 行を追加して、太字で表示するものとします。 XML ファイルには、次のように、「SUBJECT」という名前で、[L1]や[L2]と同じ名前のゾーン

([number]、[title]など)を持った[Line]が追加されています。

🕕 重要

[Line]の中のゾーンの名前は、他の[Line]のものと、必ず共通にしてください。

Z: PAGE_NUMBER - Page Number : 1
── <mark>乙</mark> : source - :海外
🖃 🧲: Group : meisai
🗄 🗝 Line : SUBJECT
Z: number - : No.
·····乙: volume - :数量
Z: unit_price - :単価
Eine: L1
Z: number - : 135
Z: title - : インホリューション – 内に向かう発展
Z: volume - : 2
Z : unit_price - : 1500
Ene: L2
Z: volume - : 1
Z: unit_price - : 2000
Line: L3
Line: L4

グループ[meisai]の中に、ゾーン[number]、[title]、[volume]、[unit_price]を、それぞれドラッグ&ド ロップします。項目名を太字で表示するゾーンと、その他のゾーンをそれぞれ表示するために、各ゾーン は次の画面のように、2 つずつ配置します。(グループ内では、ゾーンの上下方向の位置は、文字が表示さ れる位置に影響しませんが、左右方向の位置はゾーンの位置によって決まります。)



太字にするゾーンの条件は、次のように[bold]という名前を付けます。そこでは、[XML Line]の名前を、 XML ファイル内の該当する[Line]の名前である[SUBJECT]と指定します。

ソーン	のブ	ロパティ							X
デー	如命	置 フォントとス	タイル 条件	אַלאָר					
ク () ス	ルー: bold フール	ブ内のゾーン条作	キ: が行間に存在しま	新規(N) す1 & 66	削除(<u>D)</u> 後:	100.75 [10/mm	▼ 前: 0	10/mm •	
1	>	KML ゾーン	▼ Type :	XML Line	▼ Name:	SUBJECT			-
2	*	ĸ	ਚ in line	現在 🔻	between columns	0 and	0 the value		
3	*	ĸ	✓ in line	現在 🔻	between columns	0 and	0 the value		-
		論理ルー	ル: 1						
						ОК	キャンセル	適用(<u>A</u>)	

このゾーンのプロパティ画面は、次のとおりです。

ゾーン名(Z): NUMBER	⊻ML フィールド: number			
データ位置		タイプ(I): 文字	•	
📰 XML データを開く		標準	•	
桁: 1	長さ(<u>L</u>): 3	ゾーン条件(Z):	Y シフト(S):	10/mm -
ゾーンの前に追加する文字:		bold		
				言羊糸田
ゾーンの後に追加する文字:				



一方、太字にしないゾーンの条件は、次のように[std]という名前を付けて定義します。太字の条件に対し

て、論理式で[not 1]を指定しています。

V	->	 カプロ	パティ					- States	-	X
	データ	位置	フォントとスタ	イル 条件 :						
	7 [1]	ループi :td	内のゾーン条件	:	新規(№)	削除(<u>D)</u> 後:	100.75 [10/mn	n 🔻 前: 0	10/mm •	
	2	7-160	か中に、テータが	行間に存在しまう	f1 & 66					
	1	XM	ΙL ゾーン 🚽	Type :	XML Line	▼ Name:	SUBJECT			<u> </u>
	2	*	•	in line	現在 🔻	between columns	0 and	0 the value		
	3	*	•	in line	現在 🔻	between columns	0 and	0 the value		-
			論理ルール	: not 1						
							OK	キャンセル	適用(<u>A</u>)	ヘルプ
							OK	**>セル	適用(<u>A</u>)	<u>へルプ</u>

各ゾーンに対して、[bold]か[std]のどちらかの条件を指定します。

プレビューの結果は、次のとおりです。

4	XML_Sample2.mp*	×		Þ	XMLビユー - Z:\map33099\mapping\SMK_SampleXML2.xml - 1 / 5
					Page : 1 - Z: PAGE_NUMBER - Page Number : 1
	海外書籍				
	No.	書籍名	数量	単価	
	135	インボリューション-内に向かう発展	Ę 2	1500	
	273	アリゾナの植物誌(第二版)	1	2000	□
	296	北西沿岸インディアン・アート	35	5000	
	323	アタラとルネ	2	980	□
	389	タガログ語入門・会話コース	2	1450	-Z: volume - : 1 -Z: unit_price - : 2000
	902	カウンター・ステイトメント	12	8900	ia -∞a Line : L3 na -∞a Line : L4



9. Mapping 処理

MapDraw 上でのプレビューで、設計が完了したことを確認したら、後の処理は入力データがスプール・フ

アイルの場合と同様です。MapDrawの[ホーム]タブのツール・バーにある アイコンをクリ ックして、3 つのプロジェクト・ファイルを Mapping サーバー上に生成します。Mapping サーバーでは、 その後、「MapDraw フォーマットの取り込み」を行ないます。入力データである XML ファイルに Mapping フォーマットを適用して、XPS ファイルや PDF ファイル、PCL 形式の印刷データを生成するに は、MAPCPYSPLF コマンドを使用します。

Mapping サーバーが、IBM i (AS/400)の場合には、次のようにパラメーターを指定します。

例) MAPCPYSPLF SPLF(*NONE) MAPNAM(XMLSAMPLE) MAPSEQ(00010) TYPLAN(*XPS) XPSOUTFILE('/map400/mapping/test/XMLSample.xps') INFILE('/map400/mapping/SampleXML.xml')

- SPLF : *NONE
- MAPNAM:取り込んだ Mapping フォーマット名
- MAPSEQ:プロジェクトのプロパティで指定したシーケンス(複数のフォーマットを切り替えて適用する場合には、*MRG)
- TYPLAN: *XPS(プロジェクトのプロパティで指定した言語)
- XPSOUTFILE: 生成する XPS ファイルのフォルダーとファイル名
- INFILE:入力ファイルである XML ファイルが保存されたフォルダーとファイル名

PCL モードのプリンターに印刷する場合には、一部のパラメーターを次のように指定します。この指定に よって、XPS ファイルの生成、PCL 形式の印刷データへの変換、PCL 形式の印刷データの OUTQ への送信 を自動的に行ないます。

OUTQ(MY_PRINTER) XPSCONVERT(*PCL) XPSOUTFILE('*PRINT')

PDF ファイルを生成するには、XPS ファイルが生成された後に、map_xps コマンドを使用して変換します。

例) CALL PGM(MAP_XPS) PARM('-infile:/map400/mapping/test/XMLSample.xps' '-toPDF' 'outfile:/map400/mapping/test/XMLSample.pdf')